

平成30年5月の北陸地方整備局管内の水文・水質状況

北陸地方整備局管内一級河川の主要な水文・水質観測所における観測結果及び水質事故の状況について発表します。

なお、掲載の数値は速報値であり、確定値と異なることがあります。

平成30年5月の概要は、次のとおりです。

○生活環境項目のBODは、3地点で環境基準値を上回る値を観測しました。

- ・信濃川水系 千曲川 立ヶ花橋地点 BOD 3.1mg/L(環境基準値2.0mg/L)
- ・小矢部川水系 小矢部川 国条橋地点 BOD 3.2mg/L(環境基準値2.0mg/L)
- ・小矢部川水系 小矢部川 城光寺橋地点 BOD 4.3mg/L(環境基準値3.0mg/L)

○健康項目で、環境基準値を超えた地点はありませんでした。

○要監視項目で指針値を超えた地点はありませんでした。

○5月の水質事故発生件数は11件でした。

- ・北陸地方整備局に通報のあった水質事故は、11件でした。
- ・流出物質別では、油類9件、その他2件でした。
- ・事故原因別では、取扱い不注意が3件、機器の破損1件、交通事故2件、その他5件でした。
- ・県別では、新潟県8件、石川県3件でした。

※主な水質事故の概要は別紙のとおりです。

なお、本資料に関するデータ等については、北陸地方整備局ホームページにおいて提供していますので、そちらをご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/river/suisitu/suicon.html>)

取 扱 い

配布をもって解禁

同時資料配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ
 新潟県政記者クラブ
 富山県政記者クラブ
 石川県政記者クラブ
 福島県政記者クラブ
 長野市政記者クラブ
 長野県庁会見場

問 い 合 わ せ 先

国土交通省

北陸地方整備局

水災害予報センター長 田邊 雄司 (内線 3851)
 課 長 補 佐 谷口 和哉 (内線 3853)

☎ 025-280-8880(代表)
 025-370-6770(直通)

北陸技術事務所(水質分析機関)

品質調査課長 江川 康夫 (内線 351)

☎ 025-231-1281(代表)
 025-231-8037(直通)

(別 紙)

北陸地方整備局に通報のあった主な水質事故の概要

発生年月日	水系名	河川名	原因物質と流出量 (推定量)	事故発生場所	事故の概要
2018/5/9	信濃川	芋川	灯油、250L	新潟県長岡市	ホームタンクから灯油約250Lが流出した。発生源者宅敷地内にオイル吸着剤及び側溝にマットを設置し対応した。また、芋川において油膜が確認されたため、フェンスを設置し対応した。
2018/5/17	阿賀野川	新井郷川分水路	工場汚水、量不明	新潟県新潟市北区	新井郷川に油膜を伴った白濁した水が流出した。発生源者である食品工場の排水処理ポンプが故障したことが原因で、ただちにポンプを復旧するとともに、工場排水口付近に堰及びマットを設置し、また、新井郷川にフェンスを設置し対応した。
2018/5/24	手取川	手取川	軽油、最大300L エンジンオイル等、最大60L	石川県白山市	白山市でダンプトラックが手取川に転落する事故が発生し、軽油及びエンジンオイル等が最大で360L流出した。車両は当日中に引き上げられた。翌日、河川の目視点検を行ったが油膜は確認されず対応を終了した。
2018/5/30	関川	馬場川	工事排水、量不明	新潟県妙高市	関川の支川馬場川の工事現場から、濁水の流出が確認された。現場内の泥が排水されたことが原因で、ポンプを撤去し、濁水の発生が収まったことを確認し対応を終了した。